

支援部だより

令和8年7月
八代市立八代支援学校

本校では、学校教育目標「『ゆたかな心、たしかな力』の育成」のもと、「生活する力」「働く力」「人と関わる力」の育成を目指し、日々の教育活動に取り組んでいます。今号では、1学期の各学部の教育活動の中から、「協働」「ICTの活用」「外部機関との連携」を図りながら、様々な学習活動を通して一人一人の力を育む取組について紹介します。

給食の準備（小学部）

今年度は、3年生以上の児童と職員で給食当番活動を行っています。トイレと入念な手洗いを済ませてエプロンとマスクを身に付けてホールへ集合します。配膳台を出し、台をふき、食器の数を数える、ご飯やおかずをつぎ分ける、お盆に一皿ずつ取って一人分の給食を作り、クラスのテーブルに置く、など多岐にわたっての仕事があります。適量をつぎ分けることやこぼさないように運ぶのが難しい場面もありますが、毎日取り組むことで少しずつ要領を得て、自分でできることが増えています。



各教室に牛乳を配る仕事もあり、配達すると「ありがとう」や「ごくろうさん」の言葉をもらっています。

小学部みんなのために働くことは、自分が役に立っているという自己有用感を高めています。（文責：戸田）

グループ別学習の様子（中学部）

中学部では教科の学習（体育、音楽、美術以外）をグループ別に行っています。今回はそれぞれのグループの学習の様子を紹介します。

Aグループでは生活単元学習で野菜の栽培に取り組みました。ピーマンやナス、トマトを栽培し、苗から成長していく様子を観察すると共に、収穫や調理を通して食



べる喜びについても学ぶことができました。また、Aグループの数学の学習では、求められた数に応じて、相手に物を渡したり、同じ数ずつ物を袋に詰めたりする学習を行いました。日常生活を意識した場面設定での学習の中で、数に対する理解を深めることができていました。

Bグループの社会の学習では、「八代の地図を作ろう」というめあてを達成するために、大きな地図にシールを貼りながら施設の位置関係について理解を深めること



ができました。タブレットPCも利用して、より正確な位置にシールを貼ることができるように取り組む姿が見られました。(文責：高塚)

現場実習・校内実習（高等部）

6月15日（月）から26日（金）までの2週間、2・3年生は現場実習、1年生は校内実習を行いました。

就労継続支援 A 型、B 型事業所の2・3年生は毎日、生活介護の生徒は週に2日事業所に出向き、利用者のみなさんと一緒に作業や活動に取り組みました。



この実習をとおして、生徒は高等部卒業後の進路先を見つけていく、大切な実習となります。1年生は学校で1日実習を行うことで、来年度の現場実習に向けて準備を行いました。



(文責：田中)